

★学習評価～連続性に配慮する～★

小学校では、観点に照らして、児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で記述します。評価の観点は、中・高等学校における外国語科との連続性に配慮して設定することが求められています。

中学校では、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」については「言語活動への取組」と「コミュニケーションの継続」、「外国語表現の能力」及び「外国語理解の能力」については「正確さ」と「適切さ」、「言語や文化についての知識・理解」については「言語についての知識」と「文化についての理解」という視点から評価規準を設定します。

高等学校

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語 表現 の能力	外国語 理解 の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

中学校

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語 表現 の能力	外国語 理解 の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
視点 コミュニケーションに取り組む様子やコミュニケーションを継続させようとする努力の様子がみられるか。	視点 自分の考えや気持ち、事実などを誤解なく相手に伝えることができるかどうか。	視点 相手の意向や具体的な内容など、相手が伝えようとすることを理解できるかどうか。	視点 コミュニケーションを目的として言語を運用する支えになっているかどうか。

小学校

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への 慣れ親しみ		言語や文化に関する 気付き
コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	活動で用いている外国語を聞いたり話したりしながら、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。		外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通して、言葉の面白さや豊かさ、多様なものの見方や考え方があることなどに気付いている。